

社会文化学会第10回全国大会

テーマ：歴史・文化の市民的継承と社会文化

日程：2007年12月8日（土）～9日（日）

会場：三重大学生物資源学部校舎

大会参加費：会員・一般 1500円 院生・学生 1000円 1企画特別参加 500円

連絡先：大会実行委員会事務局

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学教育学部 山田康彦研究室気付

TEL/FAX：059-231-9277

E-mail：y-yamada@edu.mie-u.ac.jp

交通：近鉄江戸橋駅徒歩15分（津駅から1駅、3分）または

津駅からバス15分（津駅東口 番乗り場から乗車、大学前下車）

社会文化学会第10回全国大会プログラム

12月8日（土）

全体シンポジウム（13：00～16：30） 会場【生物資源学部2階大講義室】

テーマ：歴史・文化の市民的継承と社会文化 熊野・伊勢をフィールドにー

司会：山田康彦（三重大学）

報告1 熊野灘の海村の文化

石原義剛（海の博物館長）

報告2 東海道関宿の町並保存と地域づくり

菅原洋一（三重大学）

報告3 ふれあい街道・三重のまちかど博物館 海道七里、江戸からの継承？町衆文化の
こころ粹

浅井清貴（桑員まちかど博物館推進委員会長）

総会（16：45～17：45）

会場【生物資源学部2階大講義室】

懇親会（18：00～20：00）

会場【大学生協パセオ】

12月9日（日）

課題研究（9：30～12：00）

課題研究A

会場【生物資源学部2階217教室】

テーマ：マイノリティと社会文化

司会：南 有哲（三重短期大学）

報告1 四日市市の外国人住民について

坂倉篤（四日市市市民文化部国際課）

報告2 在日コリアンと向かい合って

- 加藤光廣(三重大学)
- 報告3 岐阜県大垣市における日系ブラジル人の教育問題
小林清治(大阪大学)
- 報告4 外国籍児童の就学「義務化」をめぐる法的諸問題
楠本孝(三重短期大学)

課題研究B

会場【生物資源学部2階220教室】

テーマ:伊勢湾の環境・暮らし・市民

司会:長谷川健二(三重大学)

- 報告1 干潟保全再生のヒント ある貝問屋の栄枯盛衰を事例に
山本茂雄(アジアの浅瀬と干潟を守る会)
- 報告2 伊勢湾の漁業と暮らし
長谷川健二(三重大学)
- 報告3 望まれる伊勢湾統合管理と市民ネットワークの活動
高山 進(三重大学)

自由論題(13:00~14:30)

セッション1

会場【生物資源学部2階217教室】

- 報告1 「文明」と「文化」の概念上の非一貫性および「社会」との関連
吉山青翔(四日市大学)
- 報告2 地域の伝統文化を活用した教育プログラムの展開~広島県福山市の「二上りおどり」の運動学的・文化的側面に着目して~
大庭三枝(福山市立短期大学)

セッション2

会場【生物資源学部2階220教室】

- 報告1 リブとして「男女雇用平等法」に反対する論理 京都の運動の事例から
村上 潔(立命館大学大学院)
- 報告2 地域福祉における主体形成と「新たな公共性」 社会文化と福祉コミュニティづくりへの課題
麓 正博(元障害者施設職員・社会事業大学大学院)

サブシンポジウム(14:45~17:00)

会場【生物資源学部2階217教室】

テーマ: 社会文化概念の有効性 社会文化研究10年の総括と展望

司会: 谷 和明(東京外国語大学), 中村共一(岐阜経済大学)

- 報告1 生活世界の変容と社会文化
豊泉周治(群馬大学)
- 報告2 異(多)文化共生と『社会文化』概念の有効性
重本直利(龍谷大学)